

平成26年度 清瀬市立清瀬第二中学校 学校評価計画表

学校教育目標	健康(よりたくましく 心身をきたえる) 愛情(より豊かな 心をつちかう) 学力(より深く 自ら学ぶ) 勤労(よりよくはたらき 責任をはたす)
--------	---

目指す学校像(ビジョン)	
【目指す学校像】	1. 確かな学力を身につける(指導法の工夫により基礎・基本的な知識や技術を実践に身に付けさせる) 2. 自己実現に向けて努力する(キャリア教育を通して将来について考え、社会に出て通用する生徒を育てる) 3. 豊かな心や健やかな体を育成する。(生命尊重の教育を実践し、全教育活動を通じて心身を鍛える)
【目指す児童・生徒像】	1. 豊かな情操を育む生徒 2. 自ら考え判断し行動する生徒 3. 社会性のある生徒 4. 心身ともに健康な生徒
【目指す教師像】	1. 共に力を出し合う教師 2. 課題を発見し、改善に繋げる教師 3. 自己研鑽に励み自らを高める教師

前年度までの学校経営上の成果と課題	
1. 教職員の異動が多いため、組織を再構築し、課題解決へ組織で動く体制を整える。また、職層に応じた役割を明確にする。	
2. 基本的な生活習慣の確立が長年の課題となっている。生徒理解や家庭地域との連携を密にし、根気強く指導にあたり、自ら規律遵守ができる生徒を育成する。	

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	努力目標(評価基準)	成果目標(評価基準)
確かな学力の向上	各教員が授業力向上に向けての研究をするとともに、授業規律と学習習慣の定着を図り、生徒個々の学力を向上させる。	授業規律を確立し、分かる楽しい授業を行う。	校内研修を通して特別支援教育や授業研究を行い、授業規律の確立と授業力を高める。	4 教員の授業評価が4段階評価でA・Bが80%以上 3 教員の授業評価が4段階評価でA・Bが70%以上 2 教員の授業評価が4段階評価でA・Bが60%以上 1 教員の授業評価が4段階評価でA・Bが60%未満	4 生徒の授業評価が4段階評価でA・Bが80%以上 3 生徒の授業評価が4段階評価でA・Bが70%以上 2 生徒の授業評価が4段階評価でA・Bが60%以上 1 生徒の授業評価が4段階評価でA・Bが60%未満
		生徒個々の能力を伸ばす。目標に向かって挑戦する精神を育成する。	漢字検定、数学検定、英語検定などを定期的に実施し、能力の伸長と学習意欲を向上させる。	4 年間検定8回以上実施 3 年間検定6回以上実施 2 年間検定5回以上実施 1 年間検定5回未満実施	4 生徒の受験延べ人数500人以上 3 生徒の受験延べ人数400人以上 2 生徒の受験延べ人数300人以上 1 生徒の受験延べ人数300人未満
		心の教育の充実を図るため、職場体験等の体験活動を推進する。	3年間を見通した系統的なキャリア教育の実践により、自己理解を深め、社会性や他者への思いやりの心を育成する。	4 全学年でキャリア教育を年間10回以上実施 3 全学年でキャリア教育を年間8回以上実施 2 全学年でキャリア教育を年間6回以上実施 1 全学年でキャリア教育を年間6回未満実施	4 生徒の満足度の評価A・Bが80%以上 3 生徒の満足度の評価A・Bが70%以上 2 生徒の満足度の評価A・Bが60%以上 1 生徒の満足度の評価A・Bが60%未満
			組織的な対応に努め、いじめや不登校生徒のない学校にする	4 調査と面談を6回以上 3 調査と面談を5回 2 調査と面談を4回 1 調査と面談を3回	4 生徒の学校生活が楽しい評価A・B80%以上 3 生徒の学校生活が楽しい評価A・B70%以上 2 生徒の学校生活が楽しい評価A・B60%以上 1 生徒の学校生活が楽しい評価A・B50%以上
健やかな体の育成	行事、保健体育、部活動を中心として、教育活動全般において健やかな体の育成を図る。	部活動、地域でのクラブ活動などに積極的に参加することにより体力向上を図る。	部活動では、技術向上に繋がる外部指導員の活用をする。部活動、地域クラブへの参加により運動習慣と体力向上を図る。	4 教職員の取り組み評価がA・Bが80%以上 3 教職員の取り組み評価がA・Bが70%以上 2 教職員の取り組み評価がA・Bが60%以上 1 教職員の取り組み評価がA・Bが60%未満	4 部活動や地域クラブへの生徒の加入率80%以上 3 部活動や地域クラブへの生徒の加入率75%以上 2 部活動や地域クラブへの生徒の加入率70%以上 1 部活動や地域クラブへの生徒の加入率70%未満
		体育の授業の工夫や行事(運動会、マラソン大会)に向けて意識を高め、学校全体で生徒の体力向上を図る。	個に応じたTTの授業、部活動などで持久走の自主練習を取り入れ、100%のマラソン大会参加率を目指す。	4 自主練習を20回以上実施 3 自主練習を15回以上実施 2 自主練習を10回以上実施 1 自主練習を10回未満実施	4 マラソン大会への生徒の参加率90%以上 3 マラソン大会への生徒の参加率85%以上 2 マラソン大会への生徒の参加率80%以上 1 マラソン大会への生徒の参加率80%未満
	本校の特色①	教師の授業力の向上を図る。	授業で勝負の意識を高め、個に応じた分かる授業の工夫・改善を図る。	4 教員全員が2回以上実施率が100% 3 教員全員が2回以上実施率が80%以上 2 教員全員が2回以上実施率が60%以上 1 教員全員が2回以上実施率が60%未満	4 教員の達成度の評価A 3 教員の達成度の評価B 2 教員の達成度の評価C 1 教員の達成度の評価D
		外部人材を活用しての多様な出前授業を実施する。	外部人材を活用して、教科・道徳・行事の充実を図る。	4 全学年で、年間12回以上実施 3 全学年で、年間10回以上実施 2 全学年で、年間6回以上実施 1 全学年で、年間6回未満	4 生徒の理解度の評価A 3 生徒の理解度の評価B 2 生徒の理解度の評価C 1 生徒の理解度の評価D
本校の特色②	生徒会活動の活性化を図り、広く東日本大震災の被災地である東北や世界に目を向けて具体的な活動を実践する。	二中の主人公は生徒自身であることを自覚し、クリーン運動、あいさつ運動、リサイクル運動に積極的に参加する。	全校規模でクリーン運動、あいさつ運動、リサイクル運動を行う。	4 クリーン運動・リサイクル運動・あいさつ運動を30回実施 3 クリーン運動・リサイクル運動・あいさつ運動を20回実施 2 クリーン運動・リサイクル運動・あいさつ運動を15回実施 1 クリーン運動・リサイクル運動・あいさつ運動を10回実施	4 生徒の参加人数500人以上 3 生徒の参加人数300人以上 2 生徒の参加人数200人以上 1 生徒の参加人数100人以上
		広く東北や世界の子どもの現状を理解し、具体的にできることを実践する。	年間2回の街頭募金を東北の義援金として実施する 東日本大震災の勉強を実施して募金活動により多くの生徒の参加を促す。	4 東日本大震災について理解・評価A・Bが70%以上 3 東日本大震災について理解・評価A・Bが60%以上 2 東日本大震災について理解・評価A・Bが50%以上 1 東日本大震災について理解・評価A・Bが50%未満	4 生徒の延べ参加人数500人以上 3 生徒の延べ参加人数400人以上 2 生徒の延べ参加人数300人以上 1 生徒の延べ参加人数200人以上